

コロナ対策（夏の入試）（核融合科学専攻）

A) 6月23日（火）の時点で、全国のどこにも緊急事態宣言が出ていない場合は、第1回学力検査は実施するが、実施方法は、以下のとおりとする。

（1）8月6日（木）の時点で、全国のどこにも緊急事態宣言が出ていない場合、核融合科学研究所にて、第1回学力検査を実施する。

（2）8月6日（木）の時点で、1か所以上の都道府県で緊急事態宣言が出ていた場合は、第1回学力検査の実施方法は以下のとおりとする。

(a) 5年一貫制：

1) 緊急事態宣言が出ていない都道府県の学生は、核融合科学研究所にて実施する第1回学力検査を受験すること。

2) 緊急事態宣言が出ている都道府県に居住している学生で、核融合科学研究所にて実施する第1回学力検査を受験する場合は、8月7日（金）から毎日の検温と体調をチェックし記録すること。連続3日以上及び当日の体温が37.5度以上ある場合は、受験することができない。その場合は、代わりに1月に実施する第2回学力検査を受験することができる。あるいは、8月6日（木）の時点で、8月の第1回学力検査は受験せず、第2回学力検査を受験することに変更することも可能である。いずれの場合も、核融合科学専攻大学院連携係に連絡すること。

(b) 3年次編入：

試験は、オンライン試験のみとする。その場合、個室でZOOMが使える環境が必要である（詳細は下記）。英語小論文及び面接は、いずれもZOOMで実施する。

B) 外国からの受験希望者の場合：

（1）5年一貫制：第1回学力検査当日に来日できない場合、1月に実施する第2回学力検査を受験すること。

（2）3年次編入：オンラインで試験を実施する。その場合、個室でZOOMが使える環境が必要である（詳細は下記）。英語小論文及び面接は、いずれもZOOMで実施する。

※オンライン試験について

オンライン試験に用いるデバイス・通信環境は受験生が準備すること。

推奨デバイス： ウェブカメラ付きPC、タブレット（スマートフォンは不可）

ヘッドセット（マイクロフォンとヘッドフォンが個別でも可）

受験環境： 個室（自宅でも可）。第3者が同じ部屋に在室する場合は不正が疑われる行為

があったものと判断します。また個室は、可能な限り雑音が入らないよう静かな場所を選んでください。

受験生がオンライン試験のための環境が準備できない、あるいは準備できない可能性がある場合は、出願期間中に、核融合科学専攻大学院連携係に連絡すること。

オンライン入試の詳細については、個別に連絡します。

学力検査当日、技術的問題が生じた場合は、再試験をする可能性があります。

不正（カンニング等）あるいは不正が疑われる行為（第3者が同席等）があった場合は、入学が取り消される場合があります。

本専攻では、オンライン試験を学力検査の目的にのみ録画する場合があることをご了承ください。

受験生がオンライン入試を撮影、録音、録画することは禁止します。

問い合わせ先：核融合科学研究所 大学院連携係 daigakuin@nifs.ac.jp

電話：0572-58-2042